

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

JR東日本・グループ会社 長年の不正・隠ぺい

輪軸組立作業でJR東日本のデータ改ざんと隠ぺい、総合車両製作所でも改ざん発覚



9/24 テレ東 BIZ ワールドビジネスサテライトより

JR東日本は17年の調査時に不正が確認されたにも関わらず、完全に隠ぺいしていました。さらに、9月27日には子会社の総合車両製作所が2114本で検査データを改ざんしていたと発表しました。

貨物列車の脱線事故をきっかけに発覚した輪軸組み立て作業の不正は、JR各社や私鉄を含めた全国の鉄道会社で長年まん延していたことが発覚しました。JR東日本でも、本体・グループ会社での改ざんと不正の隠ぺいが明らかになっています。

コスト削減・利益追求の結果

9月20日、JR東日本は輪軸組立作業で08年から17年3月までに約4900本の圧入時の圧力が基準外であり、約1200本はデータを基準値内に書き換える改ざんが行われていたことを明らかにしました。

融合化、外注化施策撤回を

JR東日本には9月24日に国交省の特別保安監査が開始され、立ち入り検査も行われています。30日には総合車両製作所にも立ち入り検査が行われました。

担当者への聞き取りでは、「作業工程が遅れる」「部品が廃棄になる」ことを恐れていたことが分かっています。その中で、「圧力が基準値外でも他の項目が正常なら安全」というのが「常識化」されています。不正の原因・責任は明らかに会社にあります。

会社はコスト削減と利益追求のために労働者をどこまでも駆り立ててきました。その施策がこの信じがたい安全崩壊を生み出しています。

鉄道はさまざまな技術分野があり、それぞれの技術力を持った労働者を養成することは鉄道会社の根幹です。各系統の技術力養成を放棄すれば、安全が崩壊するのは当然です。

しかし、JR東は職名廃止・融合化を進め、専門的な技術・経験をないがしろにしています。こんな施策はもう終わりにすべきです。職場から職名廃止・融合化、外注化撤回の声をあげよう。